

# コーヒー畑の改善事業（2019年～2024年）

## 古くなったコーヒー畑を元気に！

### ■ 実施団体：

特定非営利活動法人パルシック

### ■ 対象国・地域

東ティモール国 アイナロ県マウベシ郡

### ■ 現地カウンターパート

マウベシコーヒー生産者共同組合（コカマウ）

### ■ 協力内容：

- ・モデル農家のコーヒー畑の改善
- ・畑の改善指導ができる人材の育成
- ・コーヒー組合内でのコーヒー畑改善技術の普及

### ■ 団体のこれまでの取り組み：

- ・緊急援助活動
- ・コーヒー生産者協同組合の組織化支援
- ・女性の生計向上支援

### ■ 事業実施の背景：

東ティモールにおいて、コーヒーは主要産業のひとつであり石油に次ぐ輸出品目でもある。しかし、インドネシアによる植民地時代にコーヒー栽培に関する技術の継承が行われなかったために、現地のコーヒー農家は畑の適切な管理ができておらず近年はコーヒーの木の老朽化がすすみ、収量が減少している。この事業ではコーヒー組合に栽培技術を定着させることでコーヒー畑の若返りと収量の回復を目指した。



## 東ティモール国の課題と成果

### 課題①コーヒーの木が古くなり収量が落ちている

成果①1農家あたり古木化した木の5分の4（平均828本）の木が植替え・台切りされた

### 課題②畑の改善指導ができる人材が現地に育っていない

成果②各集落に1名ずつ、28名の技術普及員が育成され、モニタリング体制が構築された

### 🌳 畑の改善の過程

老朽化して  
収量が落ちる



実は重労働！



地上30cmくらい  
のところで切る

新しい苗が  
生えてくる

## 事業の波及効果



### 現地のコーヒーコンペで表彰！

東ティモールのコーヒー協会が毎年実施しているコーヒーコンペにおいて、2024年にコカマウが「**畑の改善**」部門で**2位**、「**品質**」部門では**1位**を受賞した。



### 日本でも東ティモールコーヒーが飲める！

東ティモールで作られたコーヒーはフェアトレード商品として輸入されており、パルシックのオンラインストアやスーパーなどで購入することが可能。

